

對ソ干涉戰爭史をめぐる米ソの學界動向

細 谷 千 博

とつづく武力干涉戰爭は、今日の國際政治の兩極化狀況のまさに發端を形成したといえよう。

一
いうまでもなく、ロシア革命のもつ世界史的意義は巨大である。それは西歐文明のよって立つ根本原理のトータルな變革、既存秩序の核心への挑戦を意味し、新しい時代の開幕をつげるものであった。それとともに、革命に對して資本主義諸國のとつた政策が、その後の歴史的發展にあたえた影響の大きさも見逃すことができない。革命の過程で發生した測り知れない犠牲が、その武力干涉政策の直接の產物であつたのみならず、ソヴェト國家の政治形態の性格が、またその外交政策の特質が、資本主義國家の武力干涉の直接の壓力のもとで、あるいはそれへの拭いえない憎惡と脅威の記憶の中で、形成されたことは否定しえないところである。かくして、ロシア革命

ところで、ロシア革命とこれに對する資本主義國家の對應の問題は、研究の重要性にもかかわらず、今日いぜんとして、その客觀的理解は必ずしも容易でない。それは未だひとびとが、革命の挑戦からうけた心理的衝擊から解放され、充分な距離で事態を認識する立場にないのみならず、革命が社會生活の各次元にあたえたインパクトは今日の世界でいぜん力強く作用しており、とくにそれによつて政治的抗爭の中心點が形づくられているからである。したがつて革命とつづく過程についての歴史的認識はともすれば政治理念の影響をうけやすいし、その結果はとかく政治的意義を帯びやすい。政治理念の差異にしたがつて、ひとは、あるいは革命のもつた醜惡な面

を強調し、資本主義國家のとった政策を正當化する傾向をしめすし、またひとは、あるいは革命の偉大な勝利と輝かしい成果、闘争過程での指導の適切さと一般大衆の獻身を力説して、革命の逢着した一切の困難とその拂つたすべての代償の責任を外國干涉勢力と反革命勢力に歸せしめる傾向をしめすのである。とくに、國際的にも國內的にも政治的緊張が高まるほど、革命と干涉戦争の問題について、その評價のみならず歴史的認識は兩極に分裂する傾向を強くするのである。

とくに、ソヴェトの場合、消費生活の犠牲において基本的な國內經濟建設を推進せねばならず、また資本主義國家との對立が戦争に發展する事態を絶えず顧慮する必要のあったその政治指導者にとっては、國民の士氣と對外的警戒心を高揚し、消費生活への心理的不満を抑制する目的で、「帝國主義の侵略」についてのシンボルを操作することは、有効な政治的テクニックと見られた。したがって、「帝國主義の侵略」のシンボルの機能を高め、國民の攻撃心の一層の投射を促すために、現實に遂行された干涉戦争の歴史敘述の果す役割りは重要視されねばならなかった。かくて、干涉戦争の史的研究のもつ政治

的意義は、とくに、ソヴェトのヒストリオグラフィーにおいて、強調されてきたのである。

ところで、冷い戦争の發生による國際的緊張の激化は、ソヴェト・ヒストリオグラフィーにとくに「革命の主敵」として「アメリカ帝國主義」との對決の必要を迫り、武力干涉史の研究を通じて、「アメリカ帝國主義」の「邪惡な意圖」を暴露し、新たな「干涉」の危険にさいて、國民の精神的武裝を強化すべき任務を課したのである。したがってこの時機を境に、ソヴェト・ヒストリオグラフィーは新しい動向を表示することとなる。

以下の小論は、この新動向の内容と意義をそれ以前の動向との比較において探るとともに、このような形でいわずに激しく挑戦されたアメリカ・ヒストリオグラフィーの對應の様相を検討し、かくして國際政治における兩極化現象に照應して發生した、干涉戦争史をめぐる二つのヒストリオグラフィーの對立の状況を展望しようとするものである。

二

對ソ武力干涉の歴史的認識について、一九二〇年代の

ソヴェト・ヒストリオグラフィに見られた状況は、當時のソヴェト社會一般の精神的雰囲気を反映するものとして、のちの發展と對比するとき興味深い。⁽¹⁾ すなわち、この時期のソヴェトにおいては、この問題にふれた多くのモノグラフ、概説書、パンフレット類が刊行され、資本主義國家の侵略政策の非難が繰返されるが、それとともに内戦と武力干涉への反革命の側からの参加者のメモアールの公刊が許容され、⁽²⁾あるいは政治的意圖とは多分に無縁なドキュメントの編纂が見られたのであり、⁽³⁾さらに重要なことは、武力干涉をめぐる基本的な問題點について認識や解釋が必ずしも同質のものでなく、そこには意見の多様性が見られたのである。たとえば、資本主義國家の對ソ政策の主導動機——とくに、ブレスト・リトウスク條約前のそれについては、これを革命顛覆と見るか、「東部戦線再建」と見るかは重要問題であり、後にソヴェトと西歐のヒストリオグラフィの間で評價の分れるところであるが、二〇年代のソヴェトにおいてはこの點について未だ認識の同調化が進行することなく、一方においてボクロフスキー M. Поповский に代表される、連合國の對ソ政策を對獨戰遂行の戰略的要請の枠組

によってとらえる見解に對し、⁽⁴⁾他方において、レヴィドフ M. Левинов のごとく、「東部戦線再建」は連合國の眞意をばかすための口實にすぎないとして、もっぱら革命顛覆の枠組によってこれをとらえる見方が對立していたのである。⁽⁵⁾このような解釋の多様性は、その他の多くの重要問題について認められた。さらにわれわれの注意をひくのは、アメリカの干涉政策の把握について、この時期のソヴェト・ヒストリオグラフィに支配的であった見解である。すなわち、ボクロフスキー、パウロヴィチ M. Павловich らは、アメリカの對ソ政策を解釋するのに、これを必ずしも革命に敵對的であつたとせず——とくにブレスト・リトウスク條約の締結前の段階において——⁽⁶⁾——少くとも資本主義國家中最も敵性の少ないものであり、ソヴェト政權とのある種の相互關係樹立について眞實に取引きの用意があつたものと見るのである。⁽⁷⁾ またアメリカ政府が何故に武力干涉に参加したかという問題については、他の連合國の外交的壓力に屈したものの、とくに連合國內部の統一保持の必要上やむなく下された決定であるとする認識(マイスキー M. Malenkov)、⁽⁸⁾あるいは、日本のシベリア派兵の不可避となつた状況に、日本の恣

意的な軍事行動を看視し、抑制を加える見地からなされた決定であるとする解釋(モナフ・R. Nothke)が通用しており、武力干渉へのアメリカ政府の態度は受動的とみなされていたのである。

このように二〇年代のソヴェト・ヒストリオグラフィにおいては、ソヴェト政權の對外關係史の最も重要な部分について解釋の多義性が認められていたのであり、このことはいわゆる相對的安定期に入つた國際政治狀況において、ソヴェト權力が比較的對外的安全感を享受した事實と深い關係にあったと見られよう。

さて、三〇年代に入つて、國際的なファシズム勢力の擡頭とその對外的膨脹政策は、著しく國際的緊張を増大し、しかもその侵略政策に對してとつた西歐諸國の「宥和政策」は、ソヴェトの政治指導者をして不信任感を募らせ、國家的安全に對する憂慮を深めさせるものであつた。すでに着手された五箇年計畫を、苛烈な犠牲の上にあくまで強行する必要も、政治的反對者に對する無慈悲な彈壓と肅清の手段をとる必要も、この國際政治狀況の出現と密接な關連をもつていたのである。かくて内外の政治狀況の緊迫化は、ソヴェト國內の多くの分野にわた

って周知のごとく「スターリン化」の現象をもたらしたのである。

ソヴェト・ヒストリオグラフィも、むろん「スターリン化」浸透の例外となるものではなかった。新たな戰爭の危機に直面して、政治的肅清の事業を進め、國民生活に大きな犠牲を要求せねばならぬ政治指導者にとって、とくに對ソ干渉戰爭の歴史は、「革命の敵」に對する國民的憎惡心を投射させ、國內體制の軍事化の強行への國民の支持をかちとるために、いわば「神話」的機能を營むものとされたのである。そして大衆のレヴェルにおいての理解を容易にするため、歴史の過程はできるだけ單純化され、参加者は「善玉」と「惡玉」に割りきらねばならなかった。かくて、帝國主義勢力は反革命勢力と結托して、革命勃發直後から革命覆滅の「邪惡な意圖」をもち、一貫してこの目標に向つて干渉政策を進めていたのであり、これに對抗して黨指導者は適切なリーダーシップをしめし、また赤軍は祖國防衛の偉大な役割りを果たしたとする理解が支配的となるのである。

一九三一年、革命戰史を編纂する目的をもつた特別委員會が、スターリンを長として設置され、翌年、編纂の

「指導要領」が公にされたことで、新情勢に即應して、政府が公定解釋をしめす意圖が明らかにされた。⁽¹⁰⁾かくてこの時期以後、ソヴェト・ヒストリオグラフィにおいて干涉戦争についての解釋の多様性の存在する餘地は少くなり、正統からの逸脱は排撃されることとなる。たとえば、「指導要領」が、一九一七年中葉から一九二一年にかけての連合國の對ソ政策を規定して、革命への戰闘的敵意と干涉への計畫に導かれたと明示したことにより、もはや「東部戰線」的觀點に立つボクロフスキー的解釋の存在は許容されず、西歐への偏向として彼の立場は嚴しい批判の的とならねばならなかった。⁽¹¹⁾

このように、國際緊張が増大し、新しい國際干涉の危機が出現した状況において、國民的團結に有害な異端的見解の排除は厳しくなり、ソヴェト・ヒストリオグラフィの等質化は進行した。さらに英佛政府が、ファシズムの侵略への「有和政策」を通じて「防共大同盟」結成の可能性を示唆したことは、英佛帝國主義のロシア革命で演じた敵對的性格を一層明らかにする必要を、また日本軍部の中國大陸への武力的侵略の開始は、シベリア出兵で示した日本帝國主義の「掠奪的性格」を一層暴露

する必要を、ソヴェト・ヒストリオグラフィにその任務として強調したのである。⁽¹²⁾

ところで、ボクロフスキー的解釋が多くの點で異端として却けられたこの三〇年代において、いぜんとしてアメリカの干涉政策にかんする限りは、彼の、たとえば、ウィルソンは不承不承、武力干涉に参加した、それはもっぱら日本に向けられた措置である、とする見方が通用していたことは意味深い。それはまた政府の公式聲明で支持されて、正統性を獲得した見解でもあったのである。すなわち、リトヴィノフ外相は、一九三三年一月二日、イズヴェスチヤ紙上で次のように聲明していた。

「ソヴェト連邦の、アメリカ合衆國による干涉で蒙った損害賠償請求の問題は、……米國のシベリア出兵にかんするものについてはこれを斷念することに決した。これは資料を研究した結果、アメリカのシベリア出兵が侵略的性格を有するものではなく、反對に日本の侵略を阻害することを任務とするものであることが立證せられたからである。」⁽¹³⁾（傍點は筆者）

一九四五年に刊行され、ソヴェトで最高の權威を誇っ

た三卷の外交史のテキスト・ブックにもこの基本的立場は繼承されて、そこには、當代の干涉戦争史の第一人者ミンツ M. Mints による、ウィルソンは、一八年の七月末、ウラディヴオストーク派兵に「讓歩」したとの記述が見えるのである。⁽¹⁴⁾

さて、ソヴェートのヒストリオグラフィーに比較して、對ソ干涉戦争問題をめぐるアメリカのその動向は、同じ時期にどのような様相を呈していたであろうか。⁽¹⁵⁾ アメリカにおいては、現實政治過程と右の問題の歴史記述との関連度は低く、政治的必要から見ても、さらに精神的風土の面からも、權威による見解の等質化という現象の發生しなかったことはいうまでもない。それにもかかわらず、そこにおいて共通に見られる理解が存在していた。それは、第一に、アメリカの對ソ政策の性格は他の連合國——英佛日——のそれと區別さるべきであり、第二に、アメリカの對ソ武力干涉への反對態度は明確であったとするものである。この理解に立ちながら、何故にウィルソン大統領は、當初の態度を變更して、一八年七月に武力干涉への「参加」を決定するにいたったか、という點に問題關心は集中される。そしてこの點を究明す

るために、革命發生以後の歴史過程の實證的究明がなされ、その結果ウィルソンの干涉決定を導いた要因として、次の三つがあげられてきたのである。

- (1) 連合國軍に屬するチェコスロヴァーク軍約五万が、歐露からシベリア經由、ヨーロッパ戰場に移動途中であつたが、たまたま一八年五月末以來、シベリア鐵道沿線各地で、地方ボリシェヴィキと武力衝突状態に入り、その結果、チェク軍の「殲滅の危險」が迫り、救援する必要が生れたという道義的要因
 - (2) 日本軍のシベリア出兵が既定のコースと觀測され、この状況においては、むしろ共同派兵の形式によつて日本の大陸政策の自由な實行を羈束することが得策と見られたという理由
 - (3) 英佛政府の度重なる派兵要請にやむなく讓歩した、という作戰の協調保持の必要
- 以上三つの要因を指摘しつつ、多くはこれらの複合作用が、アメリカの政策過程に決定的な影響力をもつたと理解するのである。⁽¹⁶⁾
- ところで、このような、對ソ武力干涉の成立過程で果たしたアメリカ政府の役割りを受動的なものとしてとら

え、ロシア革命に對してそのとつた態度は好意的とはいえないにしろ、革命政權打倒の見地にもとづく假借なき敵對的なものとはおよそ相違していたとするアメリカ・ヒストリオグラフィーの理解と、すでに見た、ソヴェト・ヒストリオグラフィーの解釋との間には多分に相共通するものが存在していた。さらにまた、英佛の對ソ政策の理解についても、たとえば、フィシャー J. Fischer は、英佛兩國政治指導者の内部には、革命抑壓を第一義に對ソ政策の形成を考慮する「大干渉主義者 big interventionist」と、對獨戰勝利の觀點でもっぱら對ソ政策の形成を考慮する「小干渉主義者 little interventionist」とが存在しており、チェック事件の發生を契機に、一八年六月、干渉政策は「小干渉」から「大干渉」へ轉換したのである⁽¹⁷⁾というが、この場合ひとはそこに二〇年代のボクロフスキーの理解との近似性を發見するであろう。かくのごとくにして、冷い戦争へと國際緊張が激化する以前においては、米ソのヒストリオグラフィーの間には、對ソ干渉戦争の基本問題、とくにアメリカの干渉政策の理解をめぐる、著しい對立のなかつたことがまず注意されねばならないであろう。

(1) 對ソ干渉戦争をめぐるソヴェト・ヒストリオグラフィーを問題とした論文として J. M. Thompson, "Allied Intervention in Russia, 1918—1921." C. E. Black, ed., *Rewriting Russian History*, 1956. をみる。本章の敘述はこれに負うところが多し。

(2) たとえば、シベリア政府の五統領のひとりであったボナディン⁽¹⁸⁾のメモリアル B. Г. Болдырев, *Директория Колчак Интервента*, 1925.

(3) その他、フランス武官、ロシヨンのメモリアル、あるいはブリント・リッションのリポートの翻譯なども見られた。cf. Thompson, *ibid.*, p. 346.

(4) M. Н. Покровский, *Внешняя Политика России в XX в.*, 1926. (Thompson, *op. cit.*, pp. 347—8).

(5) M. Левилов, *К истории союзной интервенции во России*, 1925. (Thompson, *op. cit.*, pp. 348—9).

(6) M. Павлович, *Советская Россия и капиталистическая Америка*, 1922. (Thompson, *op. cit.*, pp. 350—1).

(7) M. Танин, *10 лет внешней политики СССР, 1917—1927 гг.*, стр. 26.

(8) И. Майский, *Внешняя политика РСФСР, 1917—1921*, 1923. (Thompson, *op. cit.*, p. 350).

(9) Д. Иоффе, *Организация интервенции и блокады советской республики, 1918—1920, 1930*. (Thompson, *op. cit.*, p. 350).

(10) *История гражданской войны*; план издания, утв.

ерженный главной редакцией. 1932. (Thompson, op. cit., p. 359).

(11) Thompson, op. cit., pp. 361, 371—2.

(12) Г. Рейхберг, Японская интервенция на Дальнем Востоке. 1935. (Thompson, op. cit., p. 358).

(13) Е. Пашканис, Очерки по международному праву, 1935. (山之区一郎譯「ソヴェト國際法概論」昭和十二年一四七一—八頁)

(14) В. Поремкин, История дипломатии, т. II, 1945, стр. 388.

(15) この時期を代表するものとして、次のものをあげることもできる。

F. Schuman, American Policy toward Russia since 1917, 1929.

L. Fischer, The Soviets in World Affairs, Vol. I, 1930.

B. Bock, The Origins of the Inter-Allied Intervention in Eastern Asia, 1918—1920, 1940.

S. Pelzel, American Intervention in Siberia, 1918—1920, 1946.

(16) フィッシャーにしても、ヘルゼルにしても「複合作用」を強調するが、ボックは、日本帝國主義の阻止という要因を十分に重視する。Bock, op. cit., pp. 319—25.

(17) Fischer, op. cit., p. 100.

三

一九四七年を境に、第二次大戰後平靜を保っていた國際政治狀況は緊張度を加速する。トルーマン・ドクトリンの宣言にはじまり、NATOの結成、さらにSEATOの樹立へと展開した「封じこめ政策」の具體化、つづいて、國際緊張の集中的表現としての朝鮮動亂の勃發、さらにダレス國務長官による「巻き返し政策」の言明——これらの事態の發展は、ソヴェトの政治指導者の判斷の枠組においては、ソヴェトの國家的安全を脅かし、社會主義體制破壊の意圖を内包するものとしてとらえられることとなる。したがって、かかる「干渉政策」に對抗する措置として、對外的にワルシャワ防衛機構の結成がはかられ、同時に國內體制の新たな軍事化が企圖されることとなる。ソヴェト・ヒストリオグラフィの面にも、國際政治狀況の緊張化と危機意識の増大はただちに投影することとなるのである。

新しい國際政治狀況の出現に對應して、ソヴェトの歴史家には、その任務として、「アメリカ帝國主義の侵略プランを暴露する」目的を明確に意識し、その角度から

アメリカ外交政策の歴史的研究の必要のあることが、とくにロシア革命時にしめしたアメリカ政府の「組織者」としての主導的役割り、あるいは「偽善的、坊主風のウィルスニズム」の正體究明の必要のあることが、要請せられたのである。⁽¹⁾同時に、ロシア革命に對するアメリカ干涉政策についての、過去の誤った解釋を清算し、ブルジョア史學のまきちらした虚構を粉碎する必要があるその任務として課されたのである。

この基本的立場にもとづいて、ソヴェト・ヒストリオグラフィの新動向を最初に表示したのが、一九四八年八月の「バプロースイ・イストリー」にあらわれたギルシュフェルト A. Lipshets の論文である。⁽²⁾彼はこの中で、ボクロフスキー、パフロヴィチ的見解を激しく攻撃し、アメリカ帝國主義のシベリアに對する侵略プランはすでにアラスカ買収時にはじまり、以後一貫してアメリカ支配層は、極東ロシア奪取の野望を實現する機會を探究していた。シベリア出兵は、日本と共同して同地域を分割する企圖であり、革命直前の石井・ランシング協定は、侵略行動を準備する申合せであった。アメリカの干涉政策について従来錯覺を生む一因となっていた、ウ

イルスンの「一四項目」(とくに第六項)は、その實、ボリシェヴィキ革命の潰滅とロシア分割という眞の狙いを偽裝するものであった、と主張し、アメリカ帝國主義の本質への誤解を去るよう警告を發したのである。⁽³⁾

これを皮きりに、「アメリカ帝國主義者」こそ對ソ武力干涉の「組織者」、「發起者」であり、革命以來一貫してソヴェト政權打倒の目標をもち、干涉への共同参加者、日、英、佛に對してとくに「主導的役割り」を演じいたとするテーマは、繰返しとり上げられ、それは恰も主旋律のごとく若干のヴァリエーションをしめしながらも、ソヴェト・ヒストリオグラフィを一貫して流れたのである。とくに一九四九年に刊行された「對ソ武力干涉における主導的組織者及び参加者としてのアメリカ」と題するヴェリョーズキン A. Верезкин の書物がスターリン賞を獲得したことは、この解釋の正統性を確立する上に大きな意義をもったのである。⁽⁴⁾

朝鮮動亂の勃發は、ソヴェト・ヒストリオグラフィにおける反米キャンペーンのエネルギーを一段と高め、對ソ干涉戦争を扱った數多くの書物を生むこととなる。それらは、「朝鮮でのアメリカ帝國主義の犯罪行爲」へ

の理解を深める上に、革命時のアメリカ支配層の同種の行動を知ることが極めて有益であることを強調、干涉戦争での彼らの失敗は朝鮮での同様の運命を豫告するものであると、主張したのである。クニーナ А. Кунина、グリガ A. Грива、メリチン A. Меричин らの書物は、それらの代表的なものである。⁽⁵⁾

かくて、冷い戦争の発生を契機として、ソヴェト・ヒストリオグラフィにおける、對ソ武力干涉をめぐるアメリカの政策についての評價は、大きな弧を描いて變化し、武力干涉の一切の計畫はアメリカ支配層の本質目的から派生し、またこの時期に發生した重大な反革命行動のうちアメリカ支配層の干與しないものは全くないとする見解が支配的となったのである。たとえば、チェク軍團の蜂起にしても、英佛とともにアメリカ帝國主義者が、「干涉の尖兵」としてこれを利用するためにたてた計畫にもとづくものとされたのである。⁽⁶⁾

五三年の春を轉機に、ソヴェト・ヒストリオグラフィにおける反米キャンペーンはその調子をやわらげたといわれている。⁽⁷⁾ さらに五六年二月、二〇回黨大會で「スターリン批判」がなされたことは、この傾向を一層促進

し、干涉戦争史についても權威から自由な解釋が見られるものと期待された。しかし、五六年秋のハンガリー動亂、スエズ出兵問題の發生は、解釋の「自由化」への移行に大きなマイナス効果をもち、そのことは五七年以後のソヴェト・ヒストリオグラフィにおける冷戦期の傾向への逆轉として具體化した。

この最も新しい時期において、對ソ武力干涉史にふれた書物、論文をあらわした者として、たとえば、シシキン С. Шишкин、グリゴルツェヴィチ С. Григорьевич、バビン Л. Павин、ナイダ С. Наيدا、アラフヴェルドフ Л. Арахвердов らの名前をあげることができる。⁽⁸⁾ 彼らはいずれも、ヴェリョーズキンやクニーナが確立した立場を踏襲、アメリカ帝國主義者の干涉の「組織者」として役割りを強調、その主張を實證するためにたとえば次のような「事實」を引用するのである。(1)一七年八月の Cornell 事件へのアメリカ支配層の干與、とりわけ「指導的任務」の擔當。⁽⁹⁾ (2)革命直前の一七年一月初め、アメリカ政府は日本政府との間に石井・ランシング協定を締結、中國の犠牲において南滿洲、東部內蒙古で日本の「特殊利益」を承認するとともに、交換に、日本政府を

して對ソ軍事行動を受諾せしめたこと。⁽¹⁰⁾ (3) 一七年一二月初めの連合國最高軍事會議における、アメリカ代表の「反ソ干涉組織プラン」の提唱。⁽¹¹⁾ (4) 同じ十二月、南露の反革命派の將軍カレーディンに對する、アメリカ政府の財政援助計畫の決定。⁽¹²⁾

とくに、この時期のソヴェト・ヒストリオグラフィーにおける革命戦争史研究を代表すると見られるナイダ——モスコ—大學史學部教授、マルクスレーニン主義研究所の革命戦争史部門の副主任——は、五八年のその著書で、「アメリカ帝國主義者は、……内外を問わず、すべての反革命勢力の最大の投資者、連合國のすべての反ソ行動の演出者、また主要な反ソ陰謀の企劃者」であるとのべて、アメリカ帝國主義者の目的意思に一切の反革命活動を歸着せしめるという、反米キャンペーン最高潮期の基本立場を再確認したのである。⁽¹⁴⁾

- (1) 《Вопросы истории》, 1949 No. 3, стр. 9—10. (Thompson, op. cit., p. 385).
(2) А. Гриффелд. “О роли США в организации англосоветской интервенции в Сибири и на Дальнем Востоке.” 《Вопросы истории》, 1948, No. 8, стр. 3—22.

(3) Thompson, op. cit., pp. 381—5.

(4) А. Березкин. США—активный организатор и участник военной интервенции против Советской России (1918—1920 гг.) 1949.

(5) А. Кунина. Провал американских планов завоевания мирового господства в 1917—1920 гг., 1951.

А. Гулыга. Крах антисоветской интервенции США (1918—1922 гг.) 1952.

А. Мельчин. Американская интервенция на Советском Дальнем Востоке в 1918—1920 гг. 1951.

(9) В. Stein, Die “russische Frage” auf der Pariser Friedenskonferenz, 1919—1920, 1953, S. 46—7.

(7) Thompson, op. cit., pp. 398—400.

(8) С. Шишкин. Гражданская война на Дальнем Востоке, 1957.

С. Григорьевич. Американская и японская интервенция на Советском Дальнем Востоке и ее разгром (1918—1922 гг.) 1957.

Л. Папин. Крах колючавщины и образование дальневосточной республики, 1957.

С. Найдя. О некоторых вопросах истории гражданской войны в СССР, 1958.

Г. Алавердов. “Фальсификация буржуазными историками США истории американской интервенции против Советской России в 1917—1920 гг.” 《Вопросы

истории». 1958. No. 11, стр. 177—189.

(9) Алавердов, цит. соч., стр. 179.

(10) Папин, цит. соч., стр. 10—11; Шишкин, цит. соч., стр. 11—12.

(11) Найда, цит. соч., стр. 83; Шишкин, цит. соч., стр. 11.

(12) Алавердов, цит. соч., стр. 182—3.

(13) Найда, цит. соч., стр. 88.

(14) なお本年二月ソヴェト學士院で「一〇月革命をめぐる外國文獻」批判の研究部會が開かれたが、アメリカ文獻についての報告を擔當したクラスノフ И. Краснов その他はアメリカ政策を他の連合國のそれと區別するアメリカのヒストリオグラフィを攻撃するが、アメリカ帝國主義の組織的役割りをとくに強調していいことは注意をひく。

“Научная сессия о зарубежной литературе по истории октябрьской революции” «Вопросы истории», 1960 No. 6, стр. 180—2.

さて、ソヴェト・ヒストリオグラフィによって「ウォール・ストリートの侍女」ときめつけられ、アメリカ支配層の侵略意圖を正常化し、あるいは陰蔽する試みとして非難された⁽²⁾、アメリカのヒストリオグラフィは、このソヴェトのヒストリオグラフィの新動向に、またその「挑戦」にどのような對應を示したであろうか。次に

展望を行いたい。

まず目につくことは、當然のことながら、米ソ關係の緊張化、またソヴェトに對する一般的な關心増大という狀況の下で、米ソ關係の起源としての對ソ武力干涉期への研究意欲が高まりを見せていることである。その結果、新しい根本史料を利用し、時には史料操作に新しい方法を導入したいくつかの研究成果が出現し、とくに實證的に、その精緻さで戰前の水準を凌駕していることである。そのような研究を通觀するとき、われわれは大ざっぱにいつて次の三つの立場をその中に指摘することができるであろう。

第一は、多數説とでもいうべきであり、從來の基本的立場を踏襲して、アメリカ政府の干涉的意圖を否認、その對ソ政策を他の連合國のそれとは區別さるべきものとする主張である。しかもこの中のあるものは、米ソ關係悪化の狀況を考慮し、あるいはソヴェト・ヒストリオグラフィの「挑戦」を意識して、アメリカ政府、またウィルソンの政策を「擁護」し、「辯明」する色彩を一段と加えている。ここにおいて、二つのヒストリオグラフィ間の兩極化の傾向は一段と促進したといえる。こ

のいわば正統的立場を代表する者として、たとえば、トンプキンス P. Tompkins、ホワイト J. White、ウォース R. Warth、アンタバーガー B. Unterberger の名前をあげる⁽⁶⁾ことができる。

彼らの基本的立場を示すために、次のような言葉を引用することができるであろう。

トンプキンス……「六月末までには、近い將來シベリアで干渉が、アメリカの同意の有無にかかわらず、實行される徴候が濃厚になってきた。その上、國務省に加えられた無数の壓力、チェク軍の苦況という『大義名分』の登場、ポリシェヴィキへの一般の厭惡、日本をスポンサーにした干渉の、極東全般のアメリカの立場に對してもつ意義——これらの事情を考慮するとき、アメリカとして政策選擇の餘地は極めて狭められていた。⁽⁷⁾」

ホワイト……「干渉は、チェク軍の蹶起という偶發的事件の角度から理解することはできない。……ドイツ及び日本によるロシアの領土と富の奪取という、切迫した脅威こそが連合國の行動を不可避にした。⁽⁸⁾」
ウォース……「反革命活動で演じたアメリカの役割り

は副次的なものである。カレーディンの場合のように援助がなされたさいでも、それは他の連合國への借款提供という形式で、間接的になされた。⁽⁶⁾」

アンタバーガー……「ウィルソンの決定は、英佛の壓力の結果であつた。」「ウィルソンは干渉に参加した。それは行動の外部にとどまるより、内部における方が一層大きな拘束を日本に加えるると判斷したためである。またシベリアでのチェク軍の苦況についての喧しい報道が、ウィルソンに干渉決定に必要な『道義的』理由をあたえたこともたしかである。⁽⁹⁾」

第二は、アメリカの對ソ政策に痛烈な批判を下す、ウィリアムス W. Williams の異端の立場である。⁽⁸⁾彼はアメリカ政府の對ソ干渉意圖を肯定、それをウィルソン政府の政策の中にも、また冷戦期のアメリカの對ソ政策の基礎にある「封じこめ政策」の中にも發見するのである。彼は「封じこめ政策」の直接の立案者であるジョージ・ケナン G. Kennan の考え方をとり上げて、これに眞向うから反對、「封じこめ政策」がその目標として「ソヴェト權力の崩壊、もしくは漸次的な穩健化」を志向し

ている點は干涉政策に他ならず、ロシア革命が世界史に
 投げかけた廣汎な挑戦の意味について無理解をしめすも
 のであると批判し、またその目標を軍事的壓力を媒介に
 達成せんとする方法は極めて危険であるとして、「自由
 は、戰爭を準備する國々の手で擁護されるのではなく、
 相互和解の雰圍氣においてこそ開花の機會に恵まれる」
 と、強く主張するのである。⁽⁹⁾さらに、「モスコが、國
 境外の世界のソヴェト社會に及ぼす脅威を強調すること
 は、外國の敵對行為が現實にあつたためではなく、國內
 で獨裁政權を存續させてゆく理由を説明するために必要
 であつた……」(傍點は筆者)とするケナンの見方、をと
 らえて、これは歴史的事實への無智を告白するに等しい
 として、彼は、對ソ干涉戰爭の事實を指摘、ソヴェト政
 權が資本主義國家に對して抱く不信感⁽¹⁰⁾は正當な根據ある
 ものといふのである。そしてソヴェト社會に對する「外
 國の敵對行為が現實にあつた」ことを立證し、さらに進
 んで、「封じこめ政策」は實は第二次大戰後に始つたも
 のでなく、その淵源はウィルソン政權時代の干涉政策に
 發するものであるとの獨自の見解を提示するために、彼
 は、ウィルソン政府の對ソ政策の検討を試みるのであ

る。かくて史料にもとづく分析の結果、彼は、アメリカ
 政府指導者の根強い反ボリシェヴィキ的感情、また國
 務省内部の反ソ干涉勢力の存在を指摘し、對ソ政策の基
 礎として、反革命勢力への援助方針と「干涉原理」が公
 式に最高政策決定者の内部で決定したのは、一八年一月
 末であつたとの推定を下す。⁽¹¹⁾そして何故に武力干涉の實
 行が七月まで延期されたかという問いに對しては、アメ
 リカ政府が後援するにふさわしいロシア人——すなわ
 ち、反目的であると同時に反ボリシェヴィキの傾向をそ
 なえた——を見つけたすのに困難していたからであり、
 結局、コルチャク提督をえてこの問題を解決し、干涉實
 行を決定したのであると應え、武力干涉におけるアメリ
 カの受動的役割りを否定する。⁽¹²⁾

さて、第三の立場は、このウィリアムスによる激しい
 挑戦に直面した、「封じこめ政策」の直接の企畫者ケナン
 のとるところのものである。彼は、ソヴェト・ヒストリ
 オグラフィーの投げかけた「挑戦」をも同時に、意識的
 に受けとめながら、一歴史學徒として對ソ干涉戰爭の史
 的分析を行い、その結果、獨自の解釋を提示する。⁽¹³⁾ 彼
 は、「封じこめ政策」が「干涉政策」であり、この「干

「渉政策」は、ウィルソン政府の對ソ政策に端を發するといふウィリアムスの見解、あるいはロシア革命期に生じた一切の惡の責任を「アメリカ帝國主義者」に押しつけるといったソヴェト・ヒストリオグラフィーの論法に激しく反撥する。そしてこれらに對抗するのに「客觀的事實」をもってするとともに、彼は、革命政權に對するアメリカ政策の評價にあたつては、その形成過程における動機として、あくまでロシアの戦争繼續に東部戰線存續への希望を第一義的なものと見て、革命顛覆的觀點を却け、またウィルソンの武力干涉決定に作用した要因として、チエク軍の武力衝突を重視する。

このようにケナンは、ウィリアムスやソヴェト・ヒストリオグラフィーに對抗して、一面、アメリカ政策の擁護の立場をとる。そしてこの立場において、彼は基本的にはアメリカ・ヒストリオグラフィーの正統に連つていゝるといえるのである。しかし彼の本領は、アメリカの對ソ政策擁護にあるのではなく、むしろその獨自のリアリズムの精神に導かれた批判にある。この點が、正統に立ちながら、彼をして第一の立場から區別せしめる所以となる。彼の批判は、とくにウィルソン政權の對ソ政策の

混亂と不統一の様相、またそのユートピア的性格をつく點におかれる。駐露米大使館内部、また大使館と他の政府機關との對立による情報網の效率低下と行動の不統一。東部戰線再開についてのワシントンの抱いたイリュージョン。ケナンは、ロシアに駐在した政府下級機關のうちに、明確に革命反對の立場をとり、その見地からワシントンへの働きかけを行い、あるいは反革命派と連絡を行つていた者のあることを否定しない。彼はこの點でアメリカの政策が誤解を招く餘地のあつたことを認め、政府機關内部のコミュニケーションの缺如を指摘するのである。

ケナンはこのようにして、ウィルソン政府の對ソ政策において、誤謬と錯覺と不統一のあることをいい、獨自の形で批判を加える。それと同時に、對ソ政策の混亂と分裂の様相の指摘自體が、「アメリカ帝國主義者」がその本質目的にもとづいて周到な計畫のもとに、一七年中葉以來一貫して反革命政策を推進していたとする主張に對する基本的な意味での反駁になつてゐることも、注目されることである。

このように、ケナンは、政策決定過程の複雑な構造を

分析する點に特別の關心を向けるが、この點はアメリカ學界の最近の一般動向の反映であり、このこと自體、歴史過程の單純化的解釋に對する不滿を示したものと見られるであらう。

以上、本稿は、冷戰を契機に激しい對立の様相を呈している、二つのヒストリオグラフィの對ソ干涉戰爭をめぐる動向について、簡単な素描を試みた次第である。

- (1) Беженн, истр. соч., стр. 5.
- (2) Алакепов, истр. соч., стр. 177—89.
- (3) P. Tompkins, American Russian Relations in the Far East, 1949.
- J. White, The Siberian Intervention, 1950.
- R. Warth, The Allies and the Russian Revolution, 1954.
- B. Unterberger, America's Siberian Expedition, 1918—1920, 1956.
- (4) Tompkins, op. cit., p. 77.
- (5) White, op. cit., pp. 18, 217.
- (6) Warth, op. cit., p. 193.

- (7) Unterberger, op. cit., pp. 30, 88.
- (8) W. Williams, American Russian Relations, 1781—1947, 1952.
- (9) Ibid., pp. 280—3.
- (10) G. Kennan, American Diplomacy, 1900—1950, 1951, p. 107.
- (11) Williams, op. cit., pp. 106—7, 128—9.
- (12) Ibid., p. 106.
- (13) Soviet-American Relations, 1917—1920, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025, 2026, 2027, 2028, 2029, 2030, 2031, 2032, 2033, 2034, 2035, 2036, 2037, 2038, 2039, 2040, 2041, 2042, 2043, 2044, 2045, 2046, 2047, 2048, 2049, 2050, 2051, 2052, 2053, 2054, 2055, 2056, 2057, 2058, 2059, 2060, 2061, 2062, 2063, 2064, 2065, 2066, 2067, 2068, 2069, 2070, 2071, 2072, 2073, 2074, 2075, 2076, 2077, 2078, 2079, 2080, 2081, 2082, 2083, 2084, 2085, 2086, 2087, 2088, 2089, 2090, 2091, 2092, 2093, 2094, 2095, 2096, 2097, 2098, 2099, 2100, 2101, 2102, 2103, 2104, 2105, 2106, 2107, 2108, 2109, 2110, 2111, 2112, 2113, 2114, 2115, 2116, 2117, 2118, 2119, 2120, 2121, 2122, 2123, 2124, 2125, 2126, 2127, 2128, 2129, 2130, 2131, 2132, 2133, 2134, 2135, 2136, 2137, 2138, 2139, 2140, 2141, 2142, 2143, 2144, 2145, 2146, 2147, 2148, 2149, 2150, 2151, 2152, 2153, 2154, 2155, 2156, 2157, 2158, 2159, 2160, 2161, 2162, 2163, 2164, 2165, 2166, 2167, 2168, 2169, 2170, 2171, 2172, 2173, 2174, 2175, 2176, 2177, 2178, 2179, 2180, 2181, 2182, 2183, 2184, 2185, 2186, 2187, 2188, 2189, 2190, 2191, 2192, 2193, 2194, 2195, 2196, 2197, 2198, 2199, 2200, 2201, 2202, 2203, 2204, 2205, 2206, 2207, 2208, 2209, 2210, 2211, 2212, 2213, 2214, 2215, 2216, 2217, 2218, 2219, 2220, 2221, 2222, 2223, 2224, 2225, 2226, 2227, 2228, 2229, 2230, 2231, 2232, 2233, 2234, 2235, 2236, 2237, 2238, 2239, 2240, 2241, 2242, 2243, 2244, 2245, 2246, 2247, 2248, 2249, 2250, 2251, 2252, 2253, 2254, 2255, 2256, 2257, 2258, 2259, 2260, 2261, 2262, 2263, 2264, 2265, 2266, 2267, 2268, 2269, 2270, 2271, 2272, 2273, 2274, 2275, 2276, 2277, 2278, 2279, 2280, 2281, 2282, 2283, 2284, 2285, 2286, 2287, 2288, 2289, 2290, 2291, 2292, 2293, 2294, 2295, 2296, 2297, 2298, 2299, 2300, 2301, 2302, 2303, 2304, 2305, 2306, 2307, 2308, 2309, 2310, 2311, 2312, 2313, 2314, 2315, 2316, 2317, 2318, 2319, 2320, 2321, 2322, 2323, 2324, 2325, 2326, 2327, 2328, 2329, 2330, 2331, 2332, 2333, 2334, 2335, 2336, 2337, 2338, 2339, 2340, 2341, 2342, 2343, 2344, 2345, 2346, 2347, 2348, 2349, 2350, 2351, 2352, 2353, 2354, 2355, 2356, 2357, 2358, 2359, 2360, 2361, 2362, 2363, 2364, 2365, 2366, 2367, 2368, 2369, 2370, 2371, 2372, 2373, 2374, 2375, 2376, 2377, 2378, 2379, 2380, 2381, 2382, 2383, 2384, 2385, 2386, 2387, 2388, 2389, 2390, 2391, 2392, 2393, 2394, 2395, 2396, 2397, 2398, 2399, 2400, 2401, 2402, 2403, 2404, 2405, 2406, 2407, 2408, 2409, 2410, 2411, 2412, 2413, 2414, 2415, 2416, 2417, 2418, 2419, 2420, 2421, 2422, 2423, 2424, 2425, 2426, 2427, 2428, 2429, 2430, 2431, 2432, 2433, 2434, 2435, 2436, 2437, 2438, 2439, 2440, 2441, 2442, 2443, 2444, 2445, 2446, 2447, 2448, 2449, 2450, 2451, 2452, 2453, 2454, 2455, 2456, 2457, 2458, 2459, 2460, 2461, 2462, 2463, 2464, 2465, 2466, 2467, 2468, 2469, 2470, 2471, 2472, 2473, 2474, 2475, 2476, 2477, 2478, 2479, 2480, 2481, 2482, 2483, 2484, 2485, 2486, 2487, 2488, 2489, 2490, 2491, 2492, 2493, 2494, 2495, 2496, 2497, 2498, 2499, 2500, 2501, 2502, 2503, 2504, 2505, 2506, 2507, 2508, 2509, 2510, 2511, 2512, 2513, 2514, 2515, 2516, 2517, 2518, 2519, 2520, 2521, 2522, 2523, 2524, 2525, 2526, 2527, 2528, 2529, 2530, 2531, 2532, 2533, 2534, 2535, 2536, 2537, 2538, 2539, 2540, 2541, 2542, 2543, 2544, 2545, 2546, 2547, 2548, 2549, 2550, 2551, 2552, 2553, 2554, 2555, 2556, 2557, 2558, 2559, 2560, 2561, 2562, 2563, 2564, 2565, 2566, 2567, 2568, 2569, 2570, 2571, 2572, 2573, 2574, 2575, 2576, 2577, 2578, 2579, 2580, 2581, 2582, 2583, 2584, 2585, 2586, 2587, 2588, 2589, 2590, 2591, 2592, 2593, 2594, 2595, 2596, 2597, 2598, 2599, 2600, 2601, 2602, 2603, 2604, 2605, 2606, 2607, 2608, 2609, 2610, 2611, 2612, 2613, 2614, 2615, 2616, 2617, 2618, 2619, 2620, 2621, 2622, 2623, 2624, 2625, 2626, 2627, 2628, 2629, 2630, 2631, 2632, 2633, 2634, 2635, 2636, 2637, 2638, 2639, 2640, 2641, 2642, 2643, 2644, 2645, 2646, 2647, 2648, 2649, 2650, 2651, 2652, 2653, 2654, 2655, 2656, 2657, 2658, 2659, 2660, 2661, 2662, 2663, 2664, 2665, 2666, 2667, 2668, 2669, 2670, 2671, 2672, 2673, 2674, 2675, 2676, 2677, 2678, 2679, 2680, 2681, 2682, 2683, 2684, 2685, 2686, 2687, 2688, 2689, 2690, 2691, 2692, 2693, 2694, 2695, 2696, 2697, 2698, 2699, 2700, 2701, 2702, 2703, 2704, 2705, 2706, 2707, 2708, 2709, 2710, 2711, 2712, 2713, 2714, 2715, 2716, 2717, 2718, 2719, 2720, 2721, 2722, 2723, 2724, 2725, 2726, 2727, 2728, 2729, 2730, 2731, 2732, 2733, 2734, 2735, 2736, 2737, 2738, 2739, 2740, 2741, 2742, 2743, 2744, 2745, 2746, 2747, 2748, 2749, 2750, 2751, 2752, 2753, 2754, 2755, 2756, 2757, 2758, 2759, 2760, 2761, 2762, 2763, 2764, 2765, 2766, 2767, 2768, 2769, 2770, 2771, 2772, 2773, 2774, 2775, 2776, 2777, 2778, 2779, 2780, 2781, 2782, 2783, 2784, 2785, 2786, 2787, 2788, 2789, 2790, 2791, 2792, 2793, 2794, 2795, 2796, 2797, 2798, 2799, 2800, 2801, 2802, 2803, 2804, 2805, 2806, 2807, 2808, 2809, 2810, 2811, 2812, 2813, 2814, 2815, 2816, 2817, 2818, 2819, 2820, 2821, 2822, 2823, 2824, 2825, 2826, 2827, 2828, 2829, 2830, 2831, 2832, 2833, 2834, 2835, 2836, 2837, 2838, 2839, 2840, 2841, 2842, 2843, 2844, 2845, 2846, 2847, 2848, 2849, 2850, 2851, 2852, 2853, 2854, 2855, 2856, 2857, 2858, 2859, 2860, 2861, 2862, 2863, 2864, 2865, 2866, 2867, 2868, 2869, 2870, 2871, 2872, 2873, 2874, 2875, 2876, 2877, 2878, 2879, 2880, 2881, 2882, 2883, 2884, 2885, 2886, 2887, 2888, 2889, 2890, 2891, 2892, 2893, 2894, 2895, 2896, 2897, 2898, 2899, 2900, 2901, 2902, 2903, 2904, 2905, 2906, 2907, 2908, 2909, 2910, 2911, 2912, 2913, 2914, 2915, 2916, 2917, 2918, 2919, 2920, 2921, 2922, 2923, 2924, 2925, 2926, 2927, 2928, 2929, 2930, 2931, 2932, 2933, 2934, 2935, 2936, 2937, 2938, 2939, 2940, 2941, 2942, 2943, 2944, 2945, 2946, 2947, 2948, 2949, 2950, 2951, 2952, 2953, 2954, 2955, 2956, 2957, 2958, 2959, 2960, 2961, 2962, 2963, 2964, 2965, 2966, 2967, 2968, 2969, 2970, 2971, 2972, 2973, 2974, 2975, 2976, 2977, 2978, 2979, 2980, 2981, 2982, 2983, 2984, 2985, 2986, 2987, 2988, 2989, 2990, 2991, 2992, 2993, 2994, 2995, 2996, 2997, 2998, 2999, 3000, 3001, 3002, 3003, 3004, 3005, 3006, 3007, 3008, 3009, 3010, 3011, 3012, 3013, 3014, 3015, 3016, 3017, 3018, 3019, 3020, 3021, 3022, 3023, 3024, 3025, 3026, 3027, 3028, 3029, 3030, 3031, 3032, 3033, 3034, 3035, 3036, 3037, 3038, 3039, 3040, 3041, 3042, 3043, 3044, 3045, 3046, 3047, 3048, 3049, 3050, 3051, 3052, 3053, 3054, 3055, 3056, 3057, 3058, 3059, 3060, 3061, 3062, 3063, 3064, 3065, 3066, 3067, 3068, 3069, 3070, 3071, 3072, 3073, 3074, 3075, 3076, 3077, 3078, 3079, 3080, 3081, 3082, 3083, 3084, 3085, 3086, 3087, 3088, 3089, 3090, 3091, 3092, 3093, 3094, 3095, 3096, 3097, 3098, 3099, 3100, 3101, 3102, 3103, 3104, 3105, 3106, 3107, 3108, 3109, 3110, 3111, 3112, 3113, 3114, 3115, 3116, 3117, 3118, 3119, 3120, 3121, 3122, 3123, 3124, 3125, 3126, 3127, 3128, 3129, 3130, 3131, 3132, 3133, 3134, 3135, 3136, 3137, 3138, 3139, 3140, 3141, 3142, 3143, 3144, 3145, 3146, 3147, 3148, 3149, 3150, 3151, 3152, 3153, 3154, 3155, 3156, 3157, 3158, 3159, 3160, 3161, 3162, 3163, 3164, 3165, 3166, 3167, 3168, 3169, 3170, 3171, 3172, 3173, 3174, 3175, 3176, 3177, 3178, 3179, 3180, 3181, 3182, 3183, 3184, 3185, 3186, 3187, 3188, 3189, 3190, 3191, 3192, 3193, 3194, 3195, 3196, 3197, 3198, 3199, 3200, 3201, 3202, 3203, 3204, 3205, 3206, 3207, 3208, 3209, 3210, 3211, 3212, 3213, 3214, 3215, 3216, 3217, 3218, 3219, 3220, 3221, 3222, 3223, 3224, 3225, 3226, 3227, 3228, 3229, 3230, 3231, 3232, 3233, 3234, 3235, 3236, 3237, 3238, 3239, 3240, 3241, 3242, 3243, 3244, 3245, 3246, 3247, 3248, 3249, 3250, 3251, 3252, 3253, 3254, 3255, 3256, 3257, 3258, 3259, 3260, 3261, 3262, 3263, 3264, 3265, 3266, 3267, 3268, 3269, 3270, 3271, 3272, 3273, 3274, 3275, 3276, 3277, 3278, 3279, 3280, 3281, 3282, 3283, 3284, 3285, 3286, 3287, 3288, 3289, 3290, 3291, 3292, 3293, 3294, 3295, 3296, 3297, 3298, 3299, 3300, 3301, 3302, 3303, 3304, 3305, 3306, 3307, 3308, 3309, 3310, 3311, 3312, 3313, 3314, 3315, 3316, 3317, 3318, 3319, 3320, 3321, 3322, 3323, 3324, 3325, 3326, 3327, 3328, 3329, 3330, 3331, 3332, 3333, 3334, 3335, 3336, 3337, 3338, 3339, 3340, 3341, 3342, 3343, 3344, 3345, 3346, 3347, 3348, 3349, 3350, 3351, 3352, 3353, 3354, 3355, 3356, 3357, 3358, 3359, 3360, 3361, 3362, 3363, 3364, 3365, 3366, 3367, 3368, 3369, 3370, 3371, 3372, 3373, 3374, 3375, 3376, 3377, 3378, 3379, 3380, 3381, 3382, 3383, 3384, 3385, 3386, 3387, 3388, 3389, 3390, 3391, 3392, 3393, 3394, 3395, 3396, 3397, 3398, 3399, 3400, 3401, 3402, 3403, 3404, 3405, 3406, 3407, 3408, 3409, 3410, 3411, 3412, 3413, 3414, 3415, 3416, 3417, 3418, 3419, 3420, 3421, 3422, 3423, 3424, 3425, 3426, 3427, 3428, 3429, 3430, 3431, 3432, 3433, 3434, 3435, 3436, 3437, 3438, 3439, 3440, 3441, 3442, 3443, 3444, 3445, 3446, 3447, 3448, 3449, 3450, 3451, 3452, 3453, 3454, 3455, 3456, 3457, 3458, 3459, 3460, 3461, 3462, 3463, 3464, 3465, 3466, 3467, 3468, 3469, 3470, 3471, 3472, 3473, 3474, 3475, 3476, 3477, 3478, 3479, 3480, 3481, 3482, 3483, 3484, 3485, 3486, 3487, 3488, 3489, 3490, 3491, 3492, 3493, 3494, 3495, 3496, 3497, 3498, 3499, 3500, 3501, 3502, 3503, 3504, 3505, 3506, 3507, 3508, 3509, 3510, 3511, 3512, 3513, 3514, 3515, 3516, 3517, 3518, 3519, 3520, 3521, 3522, 3523, 3524, 3525, 3526, 3527, 3528, 3529, 3530, 3531, 3532, 3533, 3534, 3535, 3536, 3537, 3538, 3539, 3540, 3541, 3542, 3543, 3544, 3545, 3546, 3547, 3548, 3549, 3550, 3551, 3552, 3553, 3554, 3555, 3556, 3557, 3558, 3559, 3560, 3561, 3562, 3563, 3564, 3565, 3566, 3567, 3568, 3569, 3570, 3571, 3572, 3573, 3574, 3575, 3576, 3577, 3578, 3579, 3580, 3581, 3582, 3583, 3584, 3585, 3586, 3587, 3588, 3589, 3590, 3591, 3592, 3593, 3594, 3595, 3596, 3597, 3598, 3599, 3600, 3601, 3602, 3603, 3604, 3605, 3606, 3607, 3608, 3609, 3610, 3611, 3612, 3613, 3614, 3615, 3616, 3617, 3618, 3619, 3620, 3621, 3622, 3623, 3624, 3625, 3626, 3627, 3628, 3629, 3630, 3631, 3632, 3633, 3634, 3635, 3636, 3637, 3638, 3639, 3640, 3641, 3642, 3643, 3644, 3645, 3646, 3647, 3648, 3649, 3650, 3651, 3652, 3653, 3654, 3655, 3656, 3657, 3658, 3659, 3660, 3661, 3662, 3663, 3664, 3665, 3666, 3667, 3668, 3669, 3670, 3671, 3672, 3673, 3674, 3675, 3676, 3677, 3678, 3679, 3680, 3681, 3682, 3683, 3684, 3685, 3686, 3687, 3688, 3689, 3690, 3691, 3692, 3693, 3694, 3695, 3696, 3697, 3698, 3699, 3700, 3701, 3702, 3703, 3704, 3705, 3706, 3707, 3708, 3709, 3710, 3711, 3712, 3713, 3714, 3715, 3716, 3717, 3718, 3719, 3720, 3721, 3722, 3723, 3724, 3725, 3726, 3727, 3728, 3729, 3730, 3731, 3732, 3733, 3734, 3735, 3736, 3737, 3738, 3739, 3740, 3741, 3742, 3743, 3744, 3745, 3746, 3747, 3748, 3749, 3750, 3751, 3752, 3753, 3754, 3755, 3756, 3757, 3758, 3759, 3760, 3761, 3762, 3763, 3764, 3765, 3766, 3767, 3768, 3769, 3770, 3771, 3772, 3773, 3774, 3775, 3776, 3777, 3778, 3779, 3780, 3781, 3782, 3783, 3784, 3785, 3786, 3787, 3788, 3789, 3790, 3791, 3792, 3793, 3794, 3795, 3796, 3797, 3798, 3799, 3800, 3801, 3802, 3803, 3804, 3805, 3806, 3807, 3808, 3809, 3810, 3811, 3812, 3813, 3814, 3815, 3816, 3817, 3818, 3819, 3820, 3821, 3822, 3823, 3824, 3825, 3826, 3827, 3828, 3829, 3830, 3831, 3832, 3833, 3834, 3835, 3836, 3837, 3838, 3839, 3840, 3841, 3842, 3843, 3844, 3845, 3846, 3847, 3848, 3849, 3850, 3851, 3852, 3853, 3854, 3855, 3856, 3857, 3858, 3859, 3860, 3861, 3862, 3863, 3864, 3865, 3866, 3867, 3868, 3869, 3870, 3871, 3872, 3873, 3874, 3875, 3876, 3877, 3878, 3879, 3880, 3881, 3882, 3883, 3884, 3885, 3886, 3887, 3888, 3889, 3890, 3891, 3892, 3893, 3894, 3895, 3896, 3897, 3898, 3899, 3900, 3901, 3902, 3903, 3904, 3905, 3906, 3907, 3908, 3909, 3910, 3911, 3912, 3913, 3914, 3915, 3916, 3917, 3918, 3919, 3920, 3921, 3922, 3923, 3924, 3925, 3926, 3927, 3928, 3929, 3930, 3931, 3932, 3933, 3934, 3935, 3936, 3937, 3938, 3939, 3940, 3941, 3942, 3943, 3944, 3945, 3946, 3947, 3948, 3949, 3950, 3951, 3952, 3953, 3954, 3955, 3956, 3957, 3958, 3959, 3960, 3961, 39